

第7期

第7期中間見直し

2 造血幹細胞移植

造血幹細胞移植は、化学療法等では治癒しなかった白血病や重症再生不良性貧血等の血液疾患の患者に対し、骨髄、末梢血幹細胞（以下、骨髄等）又は臍帯血（へその緒と胎盤にある血液）に多く含まれる造血幹細胞を移植し、造血機能を再生する治療法である。これらの移植には、原則、患者とドナー（提供者）のHLA型（白血球の型）が一致する必要がある、その確率は、兄弟姉妹間で4分の1、それ以外では数百～数万人に1人といわれている。

そのため、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づき、移植を希望する患者に移植の機会を提供できるよう、より多くの骨髄等ドナーや臍帯血の確保を図る。

【現 状】

(1) 骨髄等移植

骨髄等ドナー登録の推進を図るため、骨髄バンク推進月間（10月）を中心に普及啓発に取り組むほか、大学生対象の特別講座等を実施している。また、兵庫県赤十字血液センター献血ルーム（7か所）で、常時ドナー登録を受け付けているほか、県健康福祉事務所等が献血併行型骨髄等ドナー登録会を実施している。

骨髄等ドナー登録者数の推移

（年度末の有効登録者数）

年度末		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
ドナー登録者数	全国	429,667	444,143	450,597	458,352	470,270
	県	16,690	17,268	17,686	18,078	18,427

(2) 臍帯血移植

臍帯血移植は、ドナー負担がなくコーディネーターが不要であることや、採取技術の向上等により、成人にも移植可能な多数の造血幹細胞数を含む臍帯血を採取できるようになってきたこと等から急速に増加し、現在では骨髄移植と同数の移植が行われている。

現在、公的臍帯血バンクは全国に6カ所あり、県内では、認定NPO法人兵庫さい帯血バンクが臍帯血供給事業者として、県内18か所の医療機関の協力を得て臍帯血の採取、保存に取り組んでいる。

臍帯血供給数・移植使用数の推移

年	平成9～24	平成25	平成26	平成27	平成28	計
全国公的バンク計 供給数 （移植使用数）	9,643 (9,322)	1,183 (1,159)	1,192 (1,177)	1,293 (1,266)	1,376 (1,330)	14,687 (14,254)
兵庫さい帯血バンク 供給数 （移植使用数）	1,299 (1,241)	113 (116)	57 (56)	79 (77)	134 (129)	1,682 (1,619)

※平成26年4月より全国のバンクは6バンクとなっている。

2 造血幹細胞移植

（同左）

【現 状】

(1) 骨髄等移植

（同左）

骨髄等ドナー登録者数の推移

（年度末の有効登録者数）

年度末		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
ドナー登録者数	全国	458,350	470,270	483,879	509,263	529,965
	県	18,078	18,427	19,003	19,932	20,495

(2) 臍帯血移植

臍帯血移植は、ドナー負担がなくコーディネーターが不要であることや、採取技術の向上等により、成人にも移植可能な多数の造血幹細胞数を含む臍帯血を採取できるようになってきたこと等から急速に増加し、現在では骨髄移植と同数の移植が行われている。

現在、公的臍帯血バンクは全国に6カ所あり、県内では、認定NPO法人兵庫さい帯血バンクが臍帯血供給事業者として、県内19か所の医療機関の協力を得て臍帯血の採取、保存に取り組んでいる。

臍帯血供給数・移植使用数の推移

年	平成9～27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	計
全国公的バンク計 供給数 （移植使用数）	13,311 (12,924)	1,376 (1,330)	1,391 (1,362)	1,347 (1,318)	1,416 (1,378)	18,841 (18,312)
兵庫さい帯血バンク 供給数 （移植使用数）	1,548 (1,490)	134 (129)	169 (162)	108 (109)	125 (124)	2,084 (2,014)

※平成26年4月より全国のバンクは6バンクとなっている。

【課題】**(1) 骨髄等移植**

骨髄バンク事業は、平成20年1月に当初目標の全国30万人のドナー登録者を確保し、平成29年10月末現在では479,966人となっている。そのため登録患者の約96%にHLA型が適合するドナーが見つかる状況であるが、ドナーの健康上の理由や仕事の都合などから骨髄提供に至らないケースがあり、移植を受けられるのは登録患者の6割程度にとどまっており、さらなる登録者確保が必要である。

(2) 臍帯血移植（省略）**【推進方策】****(1) 骨髄等移植（省略）****(2) 臍帯血移植（省略）****【課題】****(1) 骨髄等移植**

骨髄バンク事業は、平成20年1月に当初目標の全国30万人のドナー登録者を確保し、令和2年8月末現在では528,586人となっている。そのため登録患者の約96%にHLA型が適合するドナーが見つかる状況であるが、ドナーの健康上の理由や仕事の都合などから骨髄提供に至らないケースがあり、移植を受けられるのは登録患者の6割程度にとどまっており、さらなる登録者確保が必要である。

(2) 臍帯血移植（省略）**【推進方策】****(1) 骨髄等移植（省略）****(2) 臍帯血移植（省略）**